

日本鑄造

# グッドデザイン賞を受賞

## 防護柵「リゾ・シリーズ」で

### 中上賞事業部長に聞く

観光地でドライブ中、風光明媚な絶景がガードレールで遮られ、興味がそがれる思いを度々、経験している——それを解消する日本鑄造の、景観に配慮した防護柵「リゾ・シリーズ」がこのほど、2006年度グッドデザイン賞(Gマーク)を受賞した。スリムな支柱形状とステンレスワイヤーが優れた透視性、眺望性を実現させると共に安全性を確保したとして同社では今後、ドライバーたちだけでなく歩行者用空間等環境を選ばずに販売促進を展開していく方針だ。「リゾ・シリーズ」のプロデューサーでもある同社取締役の中上賞エンジニアリング事業部長にコンセプトなどを聞いた。

(澤田繁男)

## 優れた透明性・眺望性

——グッドデザイン賞(Gマーク)を受賞した「リゾ・シリーズ」について。

「土木分野の、主に橋梁に設置される橋梁用車両防護柵、高欄兼用車両防護柵、高欄、転落防止柵、横断防止柵などを対象に、主役である利用者と風景を大切に考える思想のもとに開発した防護柵シリーズです」

——コンセプトは。

「土木分野の防護柵は、コストが最優先されすぎてきたが柵類は道路施設の中でも景観イメージを大きく左右する重要な要素です。安全を確保しつつ造形的魅力を持ち、景観に充分配慮した商品が必要と判断し、使用例の少ないワイヤーロープを用い、「透視性を重視した防護柵」を開発しました」

——製品の特徴を。

「リゾ・シリーズの中でも多数を占める車両防護柵は「車両の衝突を前提として設計」されています。これはとりもなおさず「メンテナンス性の

良さ」も必要と言うことで、アンカーボルトがやや目立ちますが、支柱の足元定着部はベース形式を、横梁も着脱がスムーズに行える受け構造を選択するなど寿命を全うした商品が廃棄される段階までをも考慮した商品です。そのほか①景観の主役である「背景に広がる風景」への眺望を阻害しない、優れた透視性をもつ②同材質の従来品よりも軽量・安価でありながら、高い意匠性と造形的魅力を持つ③豊富な商品シリーズ(全47品種)により各種柵類のイメージ統一が可能、などの特徴があります」

——審査の評価ポイントは。

「商品は安全への配慮がなされ、使用環境への配慮がなされている。またデザインコンセプトが優れ新技術・新素材を巧みに利用、調和のとれた景観を提案している。そして次世代のグローバルスタンダードを誘発し、

社会基盤の拡充に貢献している——などの審査評価を戴きました。とくに、審査員の評価コメントである『デザイン開発の遅れていた分野のレベルをあげようとしており、鑄造品とパイプおよびワイヤーによる素材の組み合わせに新しい提案が見える』と評価していただきました」

——主な採用実績は。

「サンルダム橋梁(北海道旭川開発建設部)馬堀海岸(横須賀市)、揖斐川住吉浦(桑名市)、逢妻さくら橋(愛知県刈谷市)などです」

——今後の広報、売り込み戦略は。

「リゾ・シリーズ商品の豊富なシリーズバリエーションを、ユーザーに分かりやすく且つ効果的にPRするためCAD図データ及びCG画像データを取りまとめCD-R化するなど、営業販売ツールを総合的に合理化して販促活動を行っています」

——付言して

「商品自体は土木施設として50年程度は設置され続けることを条件に設計・製作されています」

また高い美観、デザイン性の追求で、伊藤清忠(東京学芸大学名誉教授)、横山裕史(フランニングオクト)の両氏のご指導、ご尽力に感謝申し上げます」

## 美しい景観創造を実現



逢妻さくら橋 (愛知県刈谷市)

また高い美観、デザイン性の追求で、伊藤清忠(東京学芸大学名誉教授)、横山裕史(フランニングオクト)の両氏のご指導、ご尽力に感謝申し上げます」